

基準 31 非常コンセント設備の設置及び維持に関する基準

第1 法令等に定める技術上の基準によるほか、次に定めるところによる。

1 令第29条の2第2項第1号の「その他これらに類する場所」には、階段の附室、階段室及び非常用エレベーターの乗降ロビーから5m以内の場所が含まれる。◇

2 非常コンセント設備の差し込接続器のプラグ受けは、次に適合すること。

(1) J I S C 8303の接地極形2極コンセントのうち定格が15A、125Vに適合するものであり、極数及び極配置は、図31-1によること。

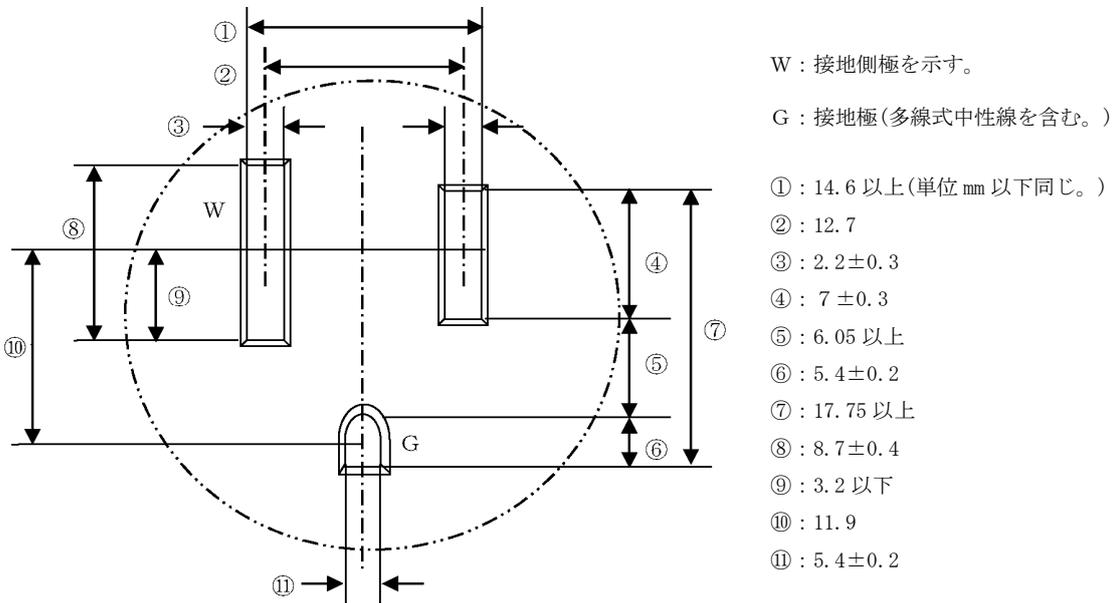


図 31-1

(2) 保護箱内には、前号のプラグ受けを2個設けること。◇

(3) プラグ受けの接地極には、D種接地工事を施すこと。

3 保護箱は、次に適合すること。☆

(1) 耐火構造の壁等に埋め込むか、又は「配電盤及び分電盤の基準」(昭和56年消防庁告示第10号)第3、1、(2)の規定に適合するものであること。ただし、次に掲げる火災の影響を受けるおそれの少ない場所に設ける場合は、この限りでない。

ア 非常用エレベーターの乗降ロビー

イ 特別避難階段又は避難階段の階段室

ウ 特別避難階段の附室

エ 「特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令」(平成17年総務省令第40号)第2条第6項に規定する開放型廊下

オ 屋外又は屋外と同等の開放性を有する直接外気に開放された場所(エを除く。)

- (2) 容易に開放できる扉を設けるとともに、扉の大きさは、短辺が 20cm 以上、長辺が 25cm 以上のものとする。◇
- (3) 防錆加工を施した厚さ 1.6mm 以上の鋼製のものとする。◇
- (4) 内部には差し込みプラグの離脱を防止するためのフック(L型又はC型)等を設けること。◇
- (5) D種接地工事を施すこと。

4 電気を供給する電源からの回路の設置方法は、電気工作物に係る法令の規定によるほか次によること。

- (1) 電源からの回路は、主配電盤から専用回路とすること(以下この基準において専用回路」という。)
- (2) 専用回路は、地絡により電路を遮断する装置を設けないこと。
- (3) 電源の配線用遮断器には、非常コンセント設備用のものである旨の表示をすること。
- (4) 非常コンセント設備の保護箱内には、配線用遮断器を設けること。
- (5) 第4号の配線用遮断器は、100V、15A以上の容量とすること。
- (6) 分岐する場合に用いるプルボックス等は、防錆加工を施した厚さ 1.6mm 以上の鋼製のものとする。
- (7) 保護箱内の配線及びプラグ受け等の充電部は、露出しないように設けること。

5 専用回路の幹線は、次によること。☆

- (1) 幹線は、1の回路につき、各階に設ける非常コンセント設備に100V、15A以上の容量を有効に供給できる電線を用いること。
- (2) 幹線の容量は、低圧で電気の供給を受けている場合は、電圧降下を考慮し標準電圧の2%以下となるように選定すること。ただし、電気使用場所内に設けた変圧器から供給する場合は、3%以下とすることができる。◇

6 非常電源及び配線は、基準33によるほか次によること。

令別表第1(16)項イに掲げる防火対象物で、同表(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供される部分の床面積の合計が1,000㎡未満のものは、その非常電源を、非常電源専用受電設備とすることができる。◇

7 非常コンセント設備の設置の表示は、次によること。☆

- (1) 標識等は、基準34によること。
- (2) 保護箱の上部に設ける赤色の灯火は、規則第12条第1項第3号ロに適合するものであること。
- (3) 灯火の回路の配線は、規則第31条の2第9号ハ及び基準33によるほか、第4項第4号の配線用遮断器の一次側から分岐し、当該分岐回路の充電部には、保護用のヒューズを設けること。◇

8 非常コンセント設備の保護箱を屋内消火栓箱等に接続する場合は、次によること。

- (1) 保護箱は、屋内消火栓箱等の上部とすること。
- (2) 消火栓部分、放水口及び弱電流電線等と非常コンセントは、不燃材料等で区画すること。◇
- (3) 屋内消火栓箱等の扉と保護箱の扉は、それぞれ別に関く構造とすること。◇
- (4) 非常コンセント設備の赤色の灯火は、屋内消火栓設備等の赤色の灯火と兼用することができる。

第2 特定共同住宅等に設置する非常コンセント設備に関する基準

「特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令」
(平成17年総務省令第40号。以下この項において「省令」という。)第2条第1号に規定する特定共同住宅等に設置する非常コンセント設備は、省令第5条第1項の規定にかかわらず通常用いられる非常コンセント設備を設置すること。◇